

淀橋煙草專賣局託兒所を見て

一 會 員

新宿の終點の所に赤い煉瓦の大きい建物が建てられてありますが、この高い窓からはかすりの仕事服を着てかひがひしく立ち働いてゐる女工さんが見られるのでせう。毎日かうして勞働しなければならぬお母さんの女工さん達の爲に、今年の五月から立派な託兒所が、工場内に新設されたのであります。私はいつからかこの託兒所を參觀したいと思つて居りまして、この夏休みのむし暑い日に、やつと寸暇を得て、ゆつくりと參觀することが出来ました。

職工主任今井氏の案内で、機械がめくるましく廻轉してゐる工場内の諸室をへて、材木の色もまた新しい託兒所に參りますと、今しも休憩時間のことゝて、女工さん達が疊にのんびりと休んで、赤ちやん達に授乳をしてゐました。母も子もこの休憩時間を待ちかねてゐるやうに、お母さんの顔にも、お乳を盛んに吸つてゐる赤ちやんの顔にも喜びがあふれてゐました。又少し大きい四五歳の子供らは、ゆりか

ごにのつたり、鬼ごつこをいたして、板敷の上で運動をして嬉々として遊んでゐました。

この託兒所の建築費は約一萬五千圓程で、建坪は七十五坪あります。室は、寢室、授乳室、遊戯室、保姆室、其に風呂場とこの託兒所づきの小庭園とがあります。四方硝子張りで、茶色のカーテンがついて居り、南向きですから、夏はよく風が入り、冬は暖かであります。寢室は子供達を寝せるところで、お晝寢の小さい夢をたどつてゐる子供達が五六人枕をそろへて居りました。授乳室は、赤ちやんにお乳を飲ませるところで、此處もいつばいになつて居ります。遊戯室は板敷でありまして、隅には大きなオルガンが置いてあつて、五、六歳の多きい子には、時々唱歌を教へてやるやうにしております。又ゆりかご等の子供に適してゐる運動器具もあります。保姆室はごく小さい室で六疊位であつて、應接室もかねて用ゐる事になつて居り、食卓もそなへられて、

來客用にされてあります。

この工場には女工さんが凡そ三千人程をります。その中でこの託児所に在籍してゐる兒童數は百人程であります。三千人の女工さんの中には、未婚者が大部分ですし、又既婚者であつても、夫婦共働ぎで有福な家計の人々は子守を置いて子供を育てゝゐるものもありますし、又老人のある家庭では子供は老人まかせにしてありますから、この託児所を利用してゐる人々は、かう云事情でない人々ばかりですから、百名程の兒童が出入してゐるわけなのであります。この中五十人は、家から母親と共に工場に連れて來られて夕方親が仕事がすんで歸るまで其處で遊んでゐる子供達で、後の五十人はお乳を飲ませに家から午前と午後に一回づゝおんぶして來る赤ちゃんなのであります。

託児所には、專屬のお守さんが三人あつて、この人々が母親達が勞働してゐる間代つて子供達の番をしてゐます。此處の工場の女工さん達は、皆母乳で子供を育てますから、牛乳の用意は少しも入らないのでありますし、お晝のお辨當、おやつ等は皆持参であります。それで工場の方では託児所の室と、布

團や毛布類をかしてやるきりで、誠に手のいらぬ託児所です。子供達は皆健全であります。先頃中日咳で缺席した者がある位ですし、またひどい皮膚病は他の子に傳染する恐れがあるものですから、缺席を強ひるさうです。このやうに兒童の丈夫なのは、母乳で育てるといふ大きい原因によるものと、しかも午前にも一回、午後にも一回と定められた時間は規則正しくお乳をのむからだらうとの事です。

工場内には醫師二名、藥劑師一名、看護婦一名と出張してゐまして、託児所の子供達の健康診斷、女工達の病氣は、無料で診察します。又小學校教育を受けてない女工達の爲めに、工場内に補習教育を授けてくれる學校が設けられてあつて、此處で教育をうければ小學校卒業した程度と同じ效力ある免状がもらはれるのであります。

これは此日案内して下さつた今井職工主任から伺つたお話ですが、この託児所が新設されたと云ふ事を新聞雜誌で知つて、毎日幾通もの手紙が地方の若い婦人から來るさうです。さうしていろいろと自分の身の上を訴へて、託児所の保母或は事務員になりたいと云ふ希望者が澤山あるさうです。かうした人

○日本幼稚園協會夏季

講習會

既報の通り本會主催の「幼稚園に於ける唱歌」の講習は七月二十五日から二十九日迄開かれました。講習をうけられし方々は百五十餘名、誠に盛會でありました。酷暑の際にもかゝはらず講師の先生方が誠に熱心に御指導下さいましたので、一同、時の立つのもわすれて日暮までいそしむ日もありました。講習でいたしました歌曲の主なものゝは次の様でした。

- 一、ニコ／＼ビン／＼の歌、二、靴が鳴る、三、お庭の草花、四、汽車、五、こん／＼小山の六、お山のお猿、七、金魚、八、ブランコ、九、すゞめ十、ぼつぽのお家、十一、正直爺さん、十二、雀のお宿十三、十五夜お月さん、十四、白い／＼お月様、十五、おもちつき、十六、お月様、十七、あられ、十八、ほうほう螢。

人は可成りの教育を有し、高等女學校位は卒業した人々で、保母になつて其の道に一生を捧げたいからといふ人や、労働者階級を主題とした小説を創作して見たいからその材料を得る爲に保母になりたいと云ふ人や、また確乎たる目的もなく都會へ憧れて上京したい爲めの口實にかう云ふ事を言ひ送る人やが澤山ありますので、今井職工長は一々私の方では採用しないからと云つて、父兄の目に觸れるやうにわざと端書で返事を出してやるさうです。若い婦人がしつかりした保證人もないのに上京するのは全く危険な事であります。しかし中には父親がわざ／＼端書を以て上京して来て、娘の希望やみ難いからとて、切に願ふ人もあるさうです。何しろ地方の處女の中には目に見えない潮の流れがどし／＼とおしよせて來てゐるらしい事を知りました。

暑い日の一日の參觀でありましたが、色々の事を得ました。この雑誌の愛讀者の方々も、お宅の御近所の託兒所をおひまの折參觀されたら御感想をお記しくだされば幸と存じます。